

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・9月号・付録
2024年9月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会

TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <https://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・川喜田尚

第61回ギヤラクシー賞贈賞式 決算報告

7月理事会報告

2024年7月25日、7月理事会をZoomミーティングにて開催した。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 茅原委員長

・7月17日にZoomで委員会を開催した。

・「GALAC」10月号特集は「放送アーカイブの現在地」。放送アーカイブの意義と現状、海外の事例としてそれぞれ吉見俊哉さん、

大高崇さんへのインタビュー記事、放送ライブラリーなどの日本の事例や、「オールナイトニッポンJAM」などのアーカイブ活用の紹介などで構成予定。表紙は寛一郎さん、ザ・パーソンは長田育恵さん。

・11月号特集は「地球沸騰化をどう報じるか(仮)」、12月号は「虎

に翼」が拓くドラマの可能性(仮)」として構成を検討中。

・前回理事会で山田理事より提議された「鹿児島県警の内部告発問題」については、「GALAC NEWS」で取り上げる予定。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉加藤副委員長

・柳川素子さんが新たにテレビ委員に加わることを理事会で承認した。

・7月2日にZoomで月評会を開催した。6月度月間賞にはドラマ25「季節のない街」(テレビ東京)、「アンメット ある脳外科医の日記」(関西テレビ)、ETV特集「死亡退院 さらなる闇」(NHK)、NHKスペシャル「法医学者たちの告白」(NHK)の4本を選出した。

〈ラジオ部門〉桜井委員長

・栗原紗代さんが新たにラジオ委員に加わることを理事会で承認した。

・7月19日にZoomで定例会を開催した。「食」をテーマに、「FRIDAY SPECIAL BAYSIDE SHOCK」(CROSS FM)、「TOROMIRADIO」(MBSラジオ)、「FM WING」(おびひろ市民ラジオ)を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉家田委員長

・6月28日にハイブリッド形式で定例会を開催し、42作品のCMを視聴した。JR東海「そうだ京都行こう。」「アサヒ「未来のレモンサワー」、芳根京子や広瀬すず出演の父の日CCMなどの作品が注目を浴びた。

・7月19日にハイブリッド形式で定例会を開催し、33作品のCMを試聴した。日本マクドナルド「ビッグマック「あしたも、笑おう。」「サントリー天然水「大自然を味方に篇」、花王「ビオレ×アサヒ生ビールなどのダブルスポンサーCMが注目を浴びた。

〔報道活動部門〕 古川委員長

・櫻井要さんが新たに報道活動委員に加わることを理事会で承認した。

◇企画事業委員会 長井委員長

・7月11日にハイブリッド形式で委員会を開催し、今年度セミナーの開催態様、テーマなどについて議論した。

・コロナ禍以降オンラインセミナーが一般化し、地方の参加者の便宜の面からも引き続きオンライン開催が望ましいと考えている。他方、参加者と講師の交流の面から、「オフ会」のような企画があっても良いのではないかという意見があった。・今年秋の開催を目指し、引き続きテーマを検討する。「GALAC」との連携を考えながら進行したい。

◇広報委員会 滝野委員長

・7月1日、ギャラクシー賞データベースに第61回受賞作品を追加。

・7月4日、HP「オリジナルコンテンツ」に「座談会」2024年春ドラマまとめ編」を掲載。

・7月4日、YouTubeにDJパーソナリティ賞・オードリーの受賞インタビュー動画を掲載。

・Gメンバー・1016人(6/11現在)。

・マイベストTV賞5月度月間ノミネートは、日曜劇場「アンチヒーロー」(TB

S)、ドラマ10「燕は戻ってこない」(NHK)、NHKスペシャル「魂のピアノスト、逝く〜フジコ・ヘミング その壮絶な人生〜」(NHK)に決定した。

2. その他

①正会員入会

伊藤貴宣さん

②第61回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会
決算報告

事務局より決算報告を受けた。支出は約1400万円となり、会費収入と審査料収入を原資とした。60周年だった昨年より60万円程度支出を縮小することができた。

今後の理事会

8月休会、9月26日、10月29日

【出席】音好宏、川喜田尚、藤田真文、出

田幸彦、桜井聖子、茅原良平、家田利一、

古川柳子、長井展光、滝野俊一、市村元

岩根彰子、風間恵美子、加藤久仁、国枝

智樹、五井千鶴子、小林毅、仲宇佐ゆり、

丹羽美之、山田健太、中島好登

会議記録

〔7月〕

2日

(選奨) テレビ月評会

11日

企画事業委員会

17日

出版編集委員会

19日

(選奨) ラジオ定例部会

25日

(選奨) CM定例部会

30日

(選奨) 報道活動委員会

30日

広報委員会



ラジオ制作者とリスナーに寄り添って

栗原紗代

はじめまして。栗原と申します。民間放送の業界団体に5年半ほど勤務し、このたび退職して新たな一歩を踏み出しました。

学生時代はただのリスナーだった自分が、業界団体の職員として制作者と向き合うようになり、皆さまがいかに熱をもつて番組と向き合っているか身に染みて感じました。そうした制作者の思いをつないでいくために自分出来ることを考え、このたび正会員として皆さまのお仲間に加わる決意を固めた次第です。

ラジオの良さの一つに「習慣化している人が多い」ことが挙げられると思っています。日々、安定して耳心地よく聴いていられるのは、ラジオにしかない武器です。

私にとってラジオはただの情報源ではなく、娯楽であり、安心できるコンテンツです。若輩者で頼れない面もあるかと存じますが、長年育んできたラジオ愛を心に、誠心誠意努めてまいります。温かく見守っていただけますと幸いです。

新入正会員自己紹介

テレビっ子からテレビ研究者へ

齋藤葵

はじめまして、今年度からお世話になります。齋藤と申します。4月に社人になったばかりの不東者ですが何卒よろしくお願いたします。

高校生までは、ただの「テレビっ子」として勉強そっちのりで、毎日6時間以上テレビを視聴していました。テレビへの興味は尽きることなく大学生時代には、テレビ番組の制作とアナウンスを専攻し、大学院生時代には、多メディア時代におけるテレビ番組のポジショニング、NHKの役割についての研究しておりました。

現在は、メディア研究のアシスタントという立場ですが、将来的には番組の質的評価をはじめとした研究に携われるようになりたいと日々、精進しております。

現在に至るまで、放送のさまざまな側面に興味を持ち、学んできました。放送界で活躍されている皆様のお知恵を拝借し、知識を深め、更なる探求心へ繋げたいと思っております。

ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

新入正会員自己紹介

報道の道が続けたい

藤田貴久

「君にかけた国費はどうなるんだ」。大学の恩師に怒鳴られた記憶が鮮明に残っています。工学研究の道を断念し、飛び込んだメディアの世界。引き寄せられた感覚を持っています。

ラジオディレクターを経て1989年記者部門に異動。現場を這いずり回りました。不登校の生徒からもらった勇氣。被害者遺族の怒りと涙。大震災、オウム真理教、和歌山カレー事件、社会保険庁の不正免除問題など、忘れられないことばかりです。

2013年からはドキュメンタリーに仕事の中心を移しました。これが大きな転機となりました。番組作りの魅力に加え、系列の担当者との共同作業により全国に同志が生まれ、さらには系列外の人々とも交流が広がったのです。これまでにない刺激と喜び。大学で教えるチャンスももらいました。ですが、ただただ報道の仕事が好きです。定年を迎え会社を去った同期もいますが、いまこの時代に報道の世界から離れたくなくて会社に残り報道の仕事が続いています。

新入正会員自己紹介

メディア表現の行方を考える

吉川邦夫

放送局で地域放送のディレクターを5年経験した後、大河ドラマ、地域ドラマなどのドラマ作りに30年ほど携わり、2020年に退職して現在はフリーです。放送批評懇談会には2度目の入会になります。前回は10年ほど前に1年間に在籍し、「GALAC」の編集委員を務めました。

4年前に放送現場を離れてからは、動画表現媒体の多様化に注目し、草の根的な創作活動をしてきた人たちが、直接動画にアクセスする人たちの支持を得て新しいクリエイターとして発見され、成功していくプロセスに興味を持っています。

一方、その成功を広い世代に押し広げる最後のダメ押しとしてテレビ・ラジオ番組を持つ影響力もまだまだ無視できないと感じます。あらゆるメディア表現がこれからどう融合し、次世代に発展していくのか。再入会したこの機会に、テレビ・ラジオの位置を客観的・相対的に確かめながら、志の高い企画・作品をよく分析して、メディア表現の行方を考えてみたいと思います。



フェイスブック
「放送批評懇談会」



X (旧: Twitter)
「@houkon_jp」



インスタグラム
「houkon.jp」



YouTube
「放送批評懇談会
公式チャンネル」



～放懇SNS発信中～

フォロー、チャンネル登録、
拡散、「いいね」
お願いします！

公式ホームページの正会員ページ、 情報更新にご協力ください！



会の公式ホームページには、正会員一覧と会員情報を掲載中です。情報が過去のものとなっていっしょの方は、更新の手続きをお願いいたします。事務局あて、変更内容をメールでお知らせください。

ホームページ正会員ページ <https://www.houkon.jp/members1/>
回答先アドレス kondankai@houkon.jp